

アーツコミッション・ヨコハマ(ACY) 助成プログラム 平成 29 年度交付者 および 交付事業が決定しました

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団は、文化芸術創造都市・横浜の推進に取り組んでいます。横浜市文化観光局創造都市推進課と協働して進めるアーツコミッション・ヨコハマ事業において、2つの助成制度の交付を行います。これにより、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて、横浜から新たな人材が育ち、また先駆的な活動が生まれることで、横浜の魅力が世界へ発信されることを目指します。

この度、29年度の交付者を決定しましたので、お知らせします。

次世代を担う若手芸術家を横浜で育成・発信 「クリエイティブ・チルドレン・フェローシップ」

このプログラムは、横浜市が文化芸術創造都市の一層の推進を図るべく展開しているクリエイティブ・チルドレン構想に基づくものです。横浜から世界に文化芸術を発信する次世代のアーティストを育成し、そのキャリアアップを支援するための助成です。

1 採 択 者	7 名 (申請数 30 名)
2 交付予定総額	6,000,000 円

創造性を生かした社会包摂の活動を支援 「クリエイティブ・インクルージョン活動助成」

共生社会の実現に向けて、アーティスト、クリエイターによる創造性を活かした社会包摂を試みる多様なプロジェクト(活動)を支援し、そのことが横浜の新たな魅力となり、世界へ発信されていくことを目指すものです。

1 採 択 事 業	7 件 (申請数 22 件)
2 交付予定総額	4,500,000 円

※アーツコミッション・ヨコハマ(ACY)は、(公財)横浜市芸術文化振興財団が横浜市文化観光局の補助金を受けて運営する事業です。(横浜市中区山下町 2 産業貿易センタービル 1F <http://acy.yafjp.org/>)

※ぜひ当助成プログラムの取材、情報掲載をお願い申し上げます。

裏面あり

お問い合わせ先 *本日は、17:00 まで在席しております。

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 広報・ACY グループ tel. 045-221-0212
チームリーダー: 福岡綾子
担当: 杉崎栄介 (インクルージョン) / 里見有祐 (フェローシップ)

【クリエイティブ・チルドレン・フェローシップ:採択者】(氏名:50音順)

採択者	青木 直介 (アオキ ナオスケ)	交付金額	500,000 円
プロフィール	<p>振付家、ダンサー。 1988年、東京生まれ。14歳よりブレイクダンスを始める。2010年、東京造形大学映画専攻卒業。在学中より美術作品、舞台作品、パフォーマンスなどの制作、発表を始める。卒業後、いくつかのダンスカンパニーに参加した後、aokid cityを主宰。2015年、第12回グラフィック「1_WALL」グランプリ。2016年、横浜ダンスコレクション 2016 審査員賞受賞。野外を舞台にした”どうぶつえん”というキュレーション企画を始動する。</p>		
採択者	小田桐 奨 (オダギリ ススム)	交付金額	1,000,000 円
プロフィール	<p>アーティストユニット・LPACK.所属。 最小限の道具と現地の素材を組み合わせ、国内の様々なスペースを「コーヒーのある風景」に変えるカフェ・プロジェクトや、各地の国際芸術祭におけるビジターのためのスペースづくり、美術館の教育普及プログラムと連動したワークショップスペースの設計など、アート、デザイン、建築、民藝などさまざまな領域を横断しながら、アーティストと鑑賞者、地域の人々とのコミュニケーションの場を創造している。</p>		
採択者	武田 力 (タケダ リキ)	交付金額	1,000,000 円
プロフィール	<p>アーティスト、俳優。 とある幼稚園での勤務ののち、演劇カンパニー・チェルフィッチュに俳優として関わる。2012年より自身での作品制作を開始。素材は「たこ焼き」や「糸電話」や「街」など。それらはアジア各地の民俗芸能をもとに創作される。民俗芸能に社会の端緒を見、そこに現代を反映して観客一人ひとりと思考する作品を制作している。 近年はフィリピン・Karnabal、中国・明当代美術館に招聘されるなど、アジアにその活動を広げており、また2015年からは滋賀県朽木古屋集落に伝わる六斎念仏踊りの継承事業にも関わっている。</p>		
採択者	田村 友一郎 (タムラ ユウイチロウ)	交付金額	1,000,000 円
プロフィール	<p>1977年富山県生まれ。東京藝術大学大学院映像研究科博士後期課程修了。既にあるイメージや自らが撮影した素材をサンプリングの手法を用いて使用し、独自の関係性を導き出しながら再構築することで、時空を超えた新たな風景や物語を立ち上げる。2010年に『NIGHTLESS』で第14回文化庁メディア芸術祭アート部門優秀賞受賞、同作が世界各国で上映。近年の主な展覧会に「2 or 3 Tigers」(Haus der Kulturen der Welt、ベルリン、2017年)、「BODY/PLAY/POLYTICS」(横浜美術館、2016年)など。</p>		
採択者	山縣 太一 (ヤマガタ タイチ)	交付金額	1,000,000 円
プロフィール	<p>演劇ユニット・オフィスマウンテン主宰、俳優、演出家、劇作家、振付家、ダンサー。 1979年、横浜生まれ。2001年より演劇カンパニー・チェルフィッチュに俳優として参加。各作品において自身の振り付けを行い、中心メンバーとしてチェルフィッチュを牽引。日常の無自覚な身体を自覚的に舞台上にのせるための独自のメソッドを考案し、ワークショップを横浜を中心に行う。2015年より自身の作・演出する演劇ユニット・オフィスマウンテンを始動。『ドッグマンノーライフ』(2016)が第61回岸田國土戯曲賞最終候補にノミネート。</p>		
採択者	山本 卓卓 (ヤマモト スグル)	交付金額	1,000,000 円
プロフィール	<p>範疇遊泳/ドキュメント代表、劇作家、演出家、俳優。 舞台上に投写した文字・写真・色・光・影などの要素と俳優を組み合わせた独自の演出と、観客の倫理観を揺さぶる強度ある脚本が海外からも注目を集め、マレーシア、タイ、インド、中国、シンガポール、ニューヨークで公演や共同制作も行う。『幼女 X』でバンコクシアターフェスティバル 2014 最優秀脚本賞と最優秀作品賞を受賞。『うまれてないからまだしねない』で第59回岸田國土戯曲賞最終候補ノミネート。公益財団法人セゾン文化財団ジュニアフェロー。急な坂スタジオサポートアーティスト。</p>		
採択者	渡辺 篤 (ワタナベ アツシ)	交付金額	500,000 円
プロフィール	<p>現代美術家。 東京藝術大学在学中から自身の体験に基づく、傷や囚われとの向き合いを根幹とし、かつ、社会批評性強き作品を発表してきた。表現媒体は絵画を中心に、インスタレーション・写真・パフォーマンスなど。 テーマは、新興宗教/経済格差/ホームレス/アニマルライツ/ジェンダー/ひきこもり/精神疾患 など多岐にわたる。卒業後、路上生活やひきこもり経験を経て2013年、活動再開。以後精力的に発表を続けている。</p>		

【クリエイティブ・インクルージョン活動助成:採択事業】(団体名:50音順)

採択事業	あしおとで遊ぼう!ワークショップ&パフォーマンス	交付金額	600,000円
主催団体	あしおとでつながろう!プロジェクト(申請代表:伊藤 夏子)		
事業内容	障がいの有無に関わらず子どもから大人まで参加できるダンスのプログラム。タップダンサーや音楽家が、福祉施設等と協力し、市内地域の文化施設等を会場にダンスと音楽が融合するワークショップを開催、作品を創作し発表する。		

採択事業	視覚障がい者のパーソナルな作品鑑賞を支援するOTON GLASSの開発と運用	交付金額	500,000円
主催団体	株式会社OTON GLASS(申請代表:島影 圭佑)		
事業内容	難読症、弱視者、外国人等文字を読むことが困難な人にむけて、文字を音声に変換して読む「眼鏡」OTON GLASSの開発。パトリエンナーレにて社会実験を行い、今まで開発してきた文字を読むためのOTON GLASSと並行して、「作品を鑑賞する」ためのOTON GLASSの応用にも取り組む。		

採択事業	災害の備えを学ぶ気持ちにハードルをつくらない減災教育プロジェクト～災害を自分ごととするためのmy減災マップ×インクルーシヴデザインの視点～	交付金額	300,000円
主催団体	減災アトリエ(申請代表:鈴木 光)		
事業内容	地域の防災意識を高めるとともに、個人の避難行動を自らの手でデザインしていく防災教育プログラム「my減災マップ」の取組み。これをさらに多くの人が体験できるよう社会包摂の視点を交えて、当事者、専門家、デザイナーが一丸となって、災害への備えを学ぶ気持ちにハードルを作らない環境づくりをしていく提案。		

採択事業	黄金町BASE(継続)	交付金額	300,000円
主催団体	黄金町BASE(申請代表:山田 裕介)		
事業内容	生活環境等の影響で地域の中で孤立しがちな子どもたちを対象に福祉の視点ではなく、アートの視点で居場所づくりを行い、コミュニティ力を高める。昨年度は、京急黄金町駅付近の高架下には放課後子どもたちが集まり、自由に工作や絵を描くなどができる場づくりを行った。今年は運営、資金を持続可能にしていく取組みを行う。		

採択事業	視覚障害者をつくる音声メディアプロジェクト	交付金額	1,000,000円
主催団体	視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ(申請代表:林建太)		
事業内容	美術館のコレクション作品を題材とし、視覚障がい者と晴眼者が共同して鑑賞のためのワークショップを行い、それを伝えやすいという視点から演劇化して音声メディアとして提供する。美術館の既存音声ガイドや視覚障がい者向けガイドとは異なる新たな道として障がいの有無に関わらず一緒に美術鑑賞を深めるツールの開発を行う。		

採択事業	YOKOHAMA KOTOBUKI INSIDE 2017(継続)	交付金額	600,000円
主催団体	スタジオニブロール(申請代表:矢内原 充志)		
事業内容	寿町に暮らす、働く、出入りする人達と対話し、その人にあう服を用意して、写真家に撮影してもらうプロジェクト。全てを等しく内包していく創造性を“ファッション”で形にすることで人と街の今の姿を切り取り、それを発表していくことで、社会包摂の本質を問うていく。		

採択事業	ドキュメンタリー映画・大人の発達障がい	交付金額	1,200,000円
主催団体	坪田義史		
事業内容	市内在住の映画監督・坪田義史氏によるドキュメンタリー映画の製作と上映。質の高い作品づくりを目指しと同時に医療の専門家を入れて取材を補強していくなど、検証も同時に行っていく。完成した作品を横浜から世界に発信していく。外観からは見えにくい障がいの姿を明らかにし、社会の理解を深めていく。		